

井桁麻葉



今年は、少人数ずつお散歩しながらお花見に出掛けました。穏やかな日差しの中、近くのお寺や公園へ向かいました。桜は満開!!例年より静かなお花見とはなりましたが、桜の香りに包まれ、のんびりとした時間を過ごすことができました。



満開の桜 ユニットごとにお花見へ

ユニットごとにお花見に出掛けました。コロナで外出を自粛してきましたが、人混みを避けて、1年以上ぶりの外出をすることができました。皆さんの久しぶりの外出を歓迎してもらっているかのように桜は満開!!皆さんの顔もニコニコ。心が踊っておられるようでした。入居して初めて外出される方もおられ、この1年外出自粛をしてきましたがやはり、外の空気を吸うことは大切なことだと実感できました。今月のすずの郷新聞は、ユニットごとのお花見の様子をお届けします。

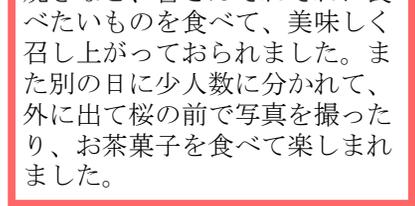
鹿子市松



安楽寺へお散歩しながら歩いて出掛けました。散歩中もタンポポを摘んだり、歌を口ずさんだりして楽しみながら桜を見に行きました。帰ったらお腹ペコペコ。松寿司で皆さんが食べたいものをテイクアウトし、お腹も心も満たされたお花見となりました。

矢舁千鳥

近くの桜並木でお花見をしました。1年以上ぶりの外出を楽しみにしておられました。お昼は、皆さんのリクエストにお応えて、王将、スシロー、たこ焼き、イタリアンなどテイクアウト料理を楽しみました。久しぶりの外出に皆さん心も解放されたのか、桜の下で何故か『チューリップ』の歌を大合唱をして皆で大笑い。忘れられない1日となりました。また外出ができる日々が待ち遠しいです。



西館



西館のお花見はビュッフェ形式でランチをしました。全て手作りで準備した春をイメージした料理を好きなだけ食べていただきました。一番人気はふわふわのエビカツ。沢山の方がおかわりをされていました。日を分けて、近所の桜を見にお散歩に出掛けました。八分咲き、満開、桜吹雪と日によって色々な桜の表情を見ていただくことができました。



すずの郷新聞 第115号

満開の桜に心とみ、その精一杯咲き誇る自然の姿に胸躍りやがて散る儚さに、けなげさや慈しみが湧き起り、すべては感謝に包まれる。ただ咲くのみ、やまびことなり、ただ人の喜びのために生きるが自然。



今月のベストユニット
雛飾りを見て「立派だなあ。昔は家でも飾ったよ。女の子がいるからね」と教えてくださった田島房子さん。ご自宅のことや、ご家族のことなど懐かしそうに話してくださいました。早くコロナが収束し、また自宅でゆっくり過ごすことができるよう願っておられました。



浅野良子さん お誕生日の お花見ドライブ



3月21日。浅野良子さんは、89歳の誕生日を迎えられました。お花が大好きな良子さんは、毎月息子さんから届くお花を楽しみに、お部屋でもそのお花を眺めておられます。すずの郷に入居されて、1年近く経ちましたが、普段はご自身のお部屋で過ごすことが多い毎日です。

そんな良子さんが、ある時「桜を見に行きたいな」と言われ、誕生日にお花見ドライブに行くこととなりました。いつもは物静かな良子さんですが、車内では外の景色を眺めながら、楽しそうに昔の話やお仕事の話などをしてくださり、外はあいにくの雨でしたが、良子さんと2人きりの車内は、とても温かく楽しいドライブの時間となりました。桜はまだ咲き始めでしたが、早咲きの桜の木の下で、2人で満開になった桜を思い浮かべたり楽しく過ごしました。帰りに良子さんの大好物のピザをテイクアウトし、お昼にはユニットの皆さんと一緒に祝いをしました。

コロナ禍であってもお年寄りの好きなものを大切に、今できる範囲で、すずの郷の生活をもっと楽しんでいただきます。
(古市喜一)



宮田スナヲさん 103歳のお誕生日

3月30日に103歳のお誕生日を迎えられた宮田スナヲさん。ある日、1通のお手紙が届きました。「お母ちゃん、誕生日おめでとう。元気していると聞いています。また会いたいね」と娘さんからのお手紙でした。一緒に届いた可愛らしいピンクのお花を眺めながら、嬉しそうに手紙を読むスナヲさん。「娘だよ」と

笑顔で教えて下さいました。

誕生日当日は、スナヲさんのリクエストで、すき焼きをご用意し、たっぷり食べられました。「肉と言えば牛肉だよ」と言いながら、あっという間に完食されました。ご家族から届いた沢山のプレゼントに囲まれて「103歳」と書かれたスタッフ特製手作りケーキに立っていたろうソクの火を見事に吹き消されました。「103歳も元気だよ」とニコリ。この笑顔をご家族様にも見ていただきたい...と、この時のスナヲさんの写真と共に、お手紙の返事を書いて送りましょうとお話すると「それはええな」とスナヲさん。「また元気で会おうね」と筆を走らせておられました。
(小林友記子)



武光観光プレゼンツ 旅行に行った気分になる 第一弾!! ◀韓国フェア▶



前日は子供たちと一緒にキムチ作り。初めて挑戦する方も!!



旅行に出掛けることができないなら、出掛けた気分を味わっていただこう! 第一弾【韓国編】色とりどりのチマチョゴリ姿の女性たちがお・も・て・な・し♪昼食はもちろん、韓国料理を手作りで。キムチは事前にお年寄り子どもたちにご協力いただいてバッチリ漬け込みOK。辛いのは苦手と言われていた方々も、しっかり箸がすすんでみえました。

「アンニョンハセヨ♪」の挨拶から始まった韓国語講座には大勢の方にご参加いただきました。先生?の後に続いて二復唱。「ペコパヨ」(お腹が空いた)「ハアジャンレカゴシポヨ」(トイレに行きたいです)など、すずの郷の日常ならではの会話文に思わず会場は笑いに包まれました。また「美」に関心のある女性にはエステを。マッサージや本場のパックで若返り体験をしていただきました。衣装を身にもった撮影会ではカラフルなスイーツを手にして、インスタ女子になりきって映え写真をパチリ。そして韓国旅行に欠かせないのが屋台。ホットク、チヂミに仕込み十分一匹丸ごと、鶏肌リアルな参鶏湯(サムゲタン)。その姿に驚かれるかと思いきや、そうでもなく...でも味は最高!皆さんの反応↑↑だったのは、タンフル(フルーツ飴)。可愛さ、味高評価♡イベントも終盤に差し掛かり、鶺鴒美枝子さんが衣装姿の私と写真を撮っていると「私も写して〜」と武田君子さん。「こういう服の人たちが、あっちにいっぱいいるで行ってこやあ〜」と話された美枝子さんに、スタッフが「どこに行ったの?」と尋ねると「韓国に行ってきたわ」と。私は思わず驚きましたが、美枝子さんのこの一言はとても嬉しかったです。

今後の企画も、皆さんに出掛けた気分を味わっていただけるよう、武光観光スタッフ丸となって頑張っていますので、どうぞよろしくお祈りします。
(鈴木夏由子)



すずの郷スタッフ(日本人です)による韓国語講座 皆さん真剣にお勉強。この日はアンニョンハセヨの声が飛び交いました



昼ご飯はキンパヤサンドップなどの韓国料理



ウーバーイーツならぬシルバーイーツで注文が入ったテイクアウトをお届け。コロナで変わった世の中の変化を体験していただきます